

●子育て支援について

問) おむつ替え、授乳スペースが分かる**子育て支援アプリの導入**について、その後の進捗は？
市) **予防接種アプリ**を10月目途に導入予定。その他の機能に関して、子育て全般に有効な情報が発信できるよう関係部署と調整していきたい。

問) 更なる**保育士の処遇改善、満足度向上**に努め、待機児解消を目指して頂きたいが如何か？
市) **保育士の宿舎借上げの補助等**を含め、今後も処遇改善を進めて参りたい。

●国分寺駅周辺地区まちづくりについて

問) 今後**アンケート調査**をどう進めていくか？
市) 本定例会後、地権者等を対象に実施する。

地域活性化めざし
スピード感ある事業展開を

公明党 さの 久美子

1. 民間との連携について

さの) 地域の一層の活性化をめざす為にコンビニとの「**地域活性化包括連携協定**」早期締結とAED配置を求める。市) この協定は市民サービス向上に寄与するものと考え。AED設置も含め、早期締結をめざし、庁内協議を進める。

さの) 郵便局と「**地域における協力に関する協定**」の締結を求める。市) 高齢者の見守りだけではない幅広い協定。早期締結をめざしたい。

2. 認知症対策について

さの) 認知症サポーターになられた方の次のステップ作りが重要。地域の人材として活躍できる制度構築を。市) 介護支援ボランティア等へのお誘いなど、各事業に参加を呼びかける。また、3年に1回キャラバンメイト養成講座開催を次期高齢者保健福祉計画に盛り込みたい。

さの) 消防署職員の受講や小学校開催拡充を。
教育長) ボランティアマインド育成の視点からも進めていきたい。副市長) 積極的に取り組む。

3. 地域コミュニティについて

さの) 自治会加入率が低下している。自治会加入の後押しのために会員対象の特典付きのカード作成の検討を求める。市) 関係団体との協議が必要。行政主導で研究をしながら考えたい。

4. 安全・安心のまちづくりについて

さの) 窪東公園のマンホールトイレの表示をすべき。また、自助としての簡易トイレ備蓄の周知を。市) 市内のマンホールトイレの表示は考えたい。各家庭での備えは周知広報したい。

さの) **女性の視点の防災**として、誰でもできるバッククッキング等の講演会開催を。市) 災害時有効である。さまざまな場面で紹介したい。

●**建築中の大型集合住宅へのごみ対策**について
集団回収の提案等、資源化推進策を求めました。

「これから」を見据えた
施策・財源配分を

自民党新国会 丸山 哲平

国3・2・8号線沿道の環境整備について

丸山) 3月に一部開通した本道の沿道部分(環境施設帯)の整備計画はどうなっているか。
建設環境部長) 植栽、歩道の仕上げ等、平成30年度をめどに完了させる予定である。

丸山) 近隣住民より落ち葉や歩道の安全面で多くのご懸念が寄せられている。住民の意向を踏

まえ東京都へ要望して欲しい。また同道に接続する市道部分も看板や道路上表記について不十分と思われる箇所が複数箇所ある。市の管轄部分については早急な点検、改善を求める。

ぶんバスについて

丸山) 万葉・けやきルートがスタート。これまでのぶんバス事業を「創設期」とすれば、今後は「維持・発展期」と捉えるべき。赤字上限のラインを設け、各路線毎の対策(料金体系、運行事業者との取決め、近隣住民への広報等)を進める、すなわち「経営」を行う必要がある。建設環境部長) 意見を踏まえ、検討して参る。

教育・学習支援について

丸山) 世帯収入の多寡が原因とされる子供の学力格差が問題になっている。特に受験期は短期間に集中的な学習を要し、貧困の連鎖を止めるために手段を講じる必要がある。現在東京都では受験生チャレンジ支援貸付事業があるも、その基準は厳しいものと考え。まず都に対し条件の緩和と範囲の拡大を求めると共に、市として何が出来るか検討を進めるべき。私は一定の条件下にあるご家庭に「教育バウチャー」を配布する等の支援を行うべきと考えるがどうか。福祉保健部長) 都へ要望して参りたい。また市として生活困窮世帯への受験期に特化した支援につき潜在的なニーズ含め研究して参りたい。

その他) ふるさと納税、防災備蓄品等質問。

「ヘルプマーク」推進は
命の尊さ学ぶ機会にも

公明党 高橋 りょう子

(1) 健康推進施策について

①若い年代からの健康診断受診は重要で若者の利用し易い電子申請を提案してきたが進捗は。又家族や雇用主が働きかける等勤奨の依頼を。

市) 以前からの指摘を踏まえ本年5月、25~39歳の電子申請受付を開始。情報提供にも努める。

②乳幼児の予防接種予定を自動作成するモバイルサービスとお知らせメール配信の進捗は。

市) 提案を受け10月から自動配信を開始する。

③国分寺の野菜を使った人気の給食や天平メニューなどの動画配信に取り組んでは如何か。

市) 食育推進の視点で庁内連携し研究したい。

(2) 安全安心対策について

千葉県での児童殺傷事件を受け更なる見守り強化の声が。又防犯まちづくり委員卒業者に青色防犯車両でパトロールするなど協力依頼をしては。

市) 学校と地域で築いてきたボランティアとの信頼関係に感謝し引続き登下校を見守っていく。貸し出せる庁用車両のパトロールも研究したい。

(3) 子育て支援・学童保育について

出勤時間の早い保護者と家を出る始業前の児童の居場所や高学年の学童保育受入など検討を。

市) 教室の余裕がなく課題を整理し研究する。

(4) 障がい者支援ヘルプマークについて

障がいやサポートの必要な方を認識する為のヘルプマークは、個性の違いを学ばいじめ防止教育にもなる。市民への周知にも工夫を。

市) 29年度東京都の補助金を受け秋頃配布予定。教育現場や市民にもマークの趣旨を周知する。

(5) 市民サービスについて

①自治体オリジナルの記念に残る婚姻届導入を。

市) 他市の取組み事例を参考に研究してみる。

その他: ①国分寺産古代米赤米の普及啓発を。
②対象者に考慮した成人式開始時間の検討を。

農と食でつながる
地域コミュニティを!

国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

◆「住まい・医療・介護・予防・生活支援」を一体的に提供する「**地域包括ケアシステム**」の構築は、複合的な困難を抱える世帯が増えていることから、全庁的に取り組むことが重要だ。(答) 地域福祉計画の「誰もが共に認め、支えあい、自分らしく暮らせるまち」という基本理念と同じ方向性だと考える。庁内の地域福祉推進委員会で意識の共有を図っている◆**福祉の総合相談窓口**の進捗状況は？(答) 第二庁舎1階に、福祉保健部、子ども家庭部が連携し、ワンストップで相談を受けられる窓口を整備した。地域には、既存の相談体制と施設を活用するような形で年度内に試行的に実施することを考えている◆**病院では早期退院が促進**されているが、地域に在宅を支える環境がなければ生活は成り立たない。今年度開設する「**在宅医療・介護連携相談窓口**」の機能について問う(答) 支援体制が十分に整わないまま退院され、在宅復帰後に地域包括支援センターやケアマネジャーが奔走することも少なくない。窓口は、退院後の地域の支援チームをマネジメントする機能をもって医療機関の調整を行う。また、窓口を通して把握された地域の課題やニーズを共有し、今後の在宅医療・介護連携のあり方や地域包括ケアシステム体制の構築に向けた施策の検討につなげる(問) ご本人や家族が安心して在宅に戻れるように、病院と地域の関係機関がお互いの現場の状況を理解しあうことが重要だ。連携体制づくりを求める◆(仮) **こくベジファーマーズパーク**の検討が行われているが、子どもも高齢者も障がい者も分け隔てなく農体験ができ、収穫物や加工品販売、イベント開催等、農福連携の視点を持って検討すること提案◆**委託型協働事業**への参加の裾野を広げる取り組みを求めた。

耳をかたむけ、
まちづくりを推進

自民党新国会 尾作 義明

●史跡整備について

尾作) 国では史跡の保存だけでなく近年は活用についても発信をはじめている、その整備方針はどの様になっているのか?資料館、トイレなどを用地に設置できないか?(部長) 基本的に史跡の整備、保存を目的とし、活用としての転用は認めていただけない。(尾作) ぶんバス万葉・けやきルートの西元町の転回場の周辺が「ようこそ」という雰囲気でない。植栽など周辺の景観整備は出来ないか?(部長) 現在、新整備基本計画で事業を進めている。金堂整備が終わった後、植栽についても遺構を傷つけない花木、草花などで環境を整えるように考えていきたい。

都道国3・4・1号線(もとまち通り)について(尾作) 都第4次事業化計画の位置づけは?(部長) 国3・4・11号線から府中街道までの間の廃止を見据え計画内容再検討路線として位置付けている。また、国分寺街道から国3・4・11号線を東西に結ぶ80mの区間を優先整備路線とし市施工
次ページに続く▶